

北薩地区フレッシュ研修（他校種参観Ⅰ）

（令和元年10月28日（月））

1 目的

特別支援学校の授業や諸教育活動の参観及び指導講話等を通して、特別支援教育への理解を深めるとともに、特別な支援を必要とする児童生徒への指導力の向上を図る。

2 会場

県立出水養護学校

3 参加者数

北薩地区小・中・高等学校初任者研修対象者 42人

4 活動の様子



校長講話

出水養護学校 中釜和幸校長

オリエンテーション

出水養護学校 川添直人教諭



授業参観及び授業参加

小学部、中学部、高等部のそれぞれの学級に配属された初任者は、児童生徒と触れ合う活動を通して、よりよい指導・支援について考えることができました。



授業参観及び授業参加



研究協議

校種別の研究協議では、特別支援教育に関する悩みの解決策について積極的な意見交換がなされました。



研究協議

初任者代表挨拶（会場校へのお礼）
薩摩川内市立亀山小学校 脇門雅功教諭

【初任者の感想】

- 教師の気付きによって児童生徒が何に困っていて、何を必要としているかが理解でき、児童生徒にとってよりよい学びの場をつくっていくことに繋がることを実感した。
- 特別支援学校の先生方の指示が丁寧で、「どうしたらいいと思うの?」「上手くできなかったね」など、考えさせたり共感したりする声掛けが多かった。
- 特別支援学級の有無に関わらず、特別支援学校に関する知識を身に付けることの大切さを改めて感じた。